



編集・発行 湘南希望の郷
〒252-0825 藤沢市瀬郷 1003
TEL0466-48-4500

Index

■ 希望の郷まつり	P1	■ ハロウィン・花火・お月見大会・寿の集い	P2
■ せせらぎ会・希望のバトン	P3	■ 行事予定・編集後記	P4

希望の郷まつり

秋の行事が盛りだくさん

実りの秋、芸術の秋など盛りだくさんの秋。希望の郷では、「寿の集い」をかわきりに「まつり希望の郷バージョン」「花火大会・お月見大会」「ハロウィン」と久しぶりの行事めじろ押しでした。職員さんもわざわざでしたが、住人さんもワクワクして、いつもより少しハイなテンションで、たっぷり楽しんでいただけたようです。今回は笑顔全開となった行事、一気にご紹介します。



夏のふくし村まつりが中止となって淋しい思いの住人さん達へ、一大イベント「希望の郷まつり」を開催しました。まつりの楽しみはゲームだったり縁日だったりですが、この気分を味わうにはと企画されたのが、豪華賞品付きペットボトルボーリングと魚釣りゲームです。まずは下準備で、アクティビティ活動の中で看板やお花、ゲームで使うものなどをみんなで作成しました。「来年こそは村まつりでたこ焼きが食べたいね」「バザーで沢山買い物したいよ」とお話もまつりの話題で盛り上がり、気分はすっかりおまつりです。

さて本番は、9月の数日間にグループに分けての開催でした。廊下に飾られた花火の絵柄のまつり看板に気持ちはいつも後押しされて、楽し気な空気に包まれています。

ペットボトルボーリング、これが簡単なようで意外と難しい。狙いを定めてゴムボールを投げても、なかなか全部を倒せません。笑ったり、真剣になったり表情豊かな皆の顔が実に楽しそうでした。

次は魚釣りです。カラフルな紙の魚の裏に点数が書かれていて、大物を釣り上げたいのですが・・・「あんなに苦労して釣ったのに、点数低いねえ」と大笑いしながらのチャレンジでした。

ゲームの後は、結果発表と賞品選びです。目の前にたくさん並んだお菓子と飲物に気を取られて、ゲーム結果よりも、真剣にお菓子を選びました。これが一番楽しかったかな？

施設の中でのイベントでしたが、皆さん「おまつり」楽しんでいただけたでしょうか。

ハロウィン HALLOWEEN

10月の声を聴くと、すぐにハロウィンと出てくるほどにお馴染みとなってきた行事です。さて今年は？ 希望の郷の廊下やホールのいたるところにカボチャやお化けなどハロウィンの装飾が施されると、今度は何が起きるのかなと少々期待感で、施設の雰囲気にもぎやかに転じます。

10月7日、少人数グループ別ハロウィンお楽しみ会が行われました。昔からの遊びの福笑いをハロウィン仕様に替えて遊びました。へんちくりんに出来上がったカボチャやお化けに皆で大笑いしていると、そこへお化けに仮装した職員が登場。一瞬驚いた顔で固まった人もいましたが、後は、変身カチューシャなどを着けてもらって、一緒に記念撮影。そしておやつにカボチャプリンも頂いて、みんな大きな声でよく笑った一日となりました。



花火・お月見大会

今年の中秋の名月は8年ぶりに満月と同じ日です。9月中旬より、この夜空に浮かぶ美しい月を眺めながら、今年も花火とお月見の会を少人数のグループに分けて行いました。

まず最初に噴き出し花火に火が付くと、大きく噴き上がる火柱のその勢いに「わー！」と歓声が響きました。続く打ち上げ花火がポーンと上がると、手を叩いて「たまや〜」などと声もかかり、美しい夜空の花火も月もゆっくりと堪能しました。締めくくりは手持ち花火です。色とりどりに咲き乱れる小さな花火をじっと見入る皆の瞳に同じくキラキラと映り込む花火はなんと素敵なワンシーンです。花火が終わるとお部屋でお月見団子をいただきました。秋の夜長、ゆったりとした風情のあるひとときに皆さんの満足顔がとても印象的です。



寿の集い

9月8日今年も65歳以上の12名の方を主賓として、寿の集いを開催しました。

今年も皆さんに一同に集まってお祝いの会をするわけにもいかず、少人数でのお祝い会となりました。先に施設長より館内放送にてお祝いのメッセージが贈られて、その後、個別に赤いちゃんちゃんこを羽織っていただき、記念撮影をしました。プレゼントには、アマビエの可愛い絵が描かれたお守りをお渡ししました。「皆さんいつまでもお元気で」の言葉に「頑張ります」との笑顔がとても明るく、印象的でした。アマビエのお守りは早速お部屋に飾ったり車椅子に貼ったりされて、皆さんのご健康を心よりお祈りするばかりです。



せせらぎ会だより

柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺 (正岡子規)

11月(霜月)。秋の日はつるべ落とし。ましてや、晩秋ともなれば午後4時を過ぎると、あれよあれよと日が暮れて行きます。あくせくする毎日。あれやこれやと思いついて悩んでいる内に、月日は流れ、気が付けば間近に年の瀬の音を聞くことに為りかねません。これは、この時節ならではの、あるある体験です。灯火親しむ候。小さな感慨にふけるのも、爽やかな秋風のなせる技なのかも知れません。さて、去る9月30日。九都道府県に出されていた非常事態宣言も解除されました。コロナ禍による長期間の自粛生活に終わりを告げるトンネルの出口がはっきりと見え

て来ました。春以来、本格的に始まった国内でのワクチン接種。その実効性は、国民の接種率が五割を超えた頃から明白になりました。八月の、最も困難を極めた新型コロナウイルス変異株による第五波の感染爆発。1日の感染者数が2万5000人を超える日など、月間の感染者数が56万人を超えるピークを過ぎてからは、ワクチン接種の有効性を証明するかの様に、統計グラフの放物線が見事な下降線を描き出しました。2ヶ月後の10月11日(現在)の、新規感染者数は369人まで激減。今年の最低記録を更新しました。郷の日常も、非常事態宣言前の状況に即して、基本的な感染対策を講じながら、ゆるやかな自粛生活に戻りました。いま、本年最後の希望通信を執筆するにあたり、日頃からの皆様の温かなご支援ご協力に対して改めて感謝御礼を申し上げます。

文責.自治会(K.I)



出会いと別れ

湘南希望の郷 生活課 大久保 真

いつも明るく皆を笑顔にしてくれる木村悦子さん、僕も笑顔でバトンを受け取りました。改めまして湘南希望の郷の大久保です。二十歳で光友会に入社し、気づけば三十八歳と中堅からベテランの年齢を迎えつつあり身が引き締まる思いでいます。

湘南希望の郷では沢山のひととの出会いがありました。新人の頃、入浴介助中に住人さんから「おまえは元気だな。笑顔が良いよ。ずっとそのままで行け。」と声をかけられ嬉しかったのを覚えています。それ以来「いつでも笑顔」が私のモットーとなっています。方やお別れですが、今年は長年希望の郷におられた住人様が天国に旅立たれました。「大久保

さん沢山世話になったね」と言ってくれた言葉は、ずっと耳に残っています。毎日顔を合わせ、心を通わせ過ごした時間が長いほどにお別れは本当に辛く寂しく感じますが、心の中でしっかり受け止め、理解、解釈をしていく事で私は人間として成長していく事が出来ていくのかなと思っています。

これからもいつでも笑顔で、感謝の気持ちを忘れずに、焦らず弛まず一歩一歩業務に励んで行きたいと思っています。

私からの希望のバトンは、大きな体と優しい瞳で業務に励んでくださっている湘南希望の郷の北村稔さんに繋ぎます。

ヤギの散歩??

夕方、川向こうに白い大きなペットの散歩をしている方を見つけた。えっ!犬じゃない!そう、ヤギでした。遠目で見ても、真っ白で結構な大きさに見とれてしまう。のんびりとしつつもしっかりした足取りは、知った道だと言わんばかりにあぜ道を進んでいる。傍に行くと「いい子、いい子」したい衝動が・・・



清水佳奈さんをご紹介

希望の郷に入居して1年になる清水佳奈さんがアクティビティ活動のパソコンで自己紹介文を打ってくれました。何にでも楽しそうにチャレンジする清水佳奈さんを皆さんにご紹介します。



私は、希望の郷に去年の11月3日に入所しました。今までは地域の作業所、活動ホームに通っていましたが、希望の郷のショートステイを利用していました。希望の郷では、歌うことが好きなので音楽のプログラムと人形やお皿を作る陶芸が楽しいです。リハビリと時間があるときの自主訓練で元気です。入居者さんと職員さんと仲良くしたいです。

コロナが終息したらお買い物と旅行に行くことと、ふくし村まつりも楽しみたいです。これからもどうぞよろしくをお願いします。

久しぶりの外出です

約2年ぶりになります。非常事態宣言の解除となって、人出の少なそうな場所ならと、散歩外出を再開することになりました。

9月のグループは、茅ヶ崎里山公園へ行ってきました。まだ残暑の強い陽ざしに目を細めてしまう日ではありましたが、緑がいっぱいの公園に足を下ろすと、おもいきり開放感に包まれて、「気持ちいい」の連発です。まだ鮮やかな彩を楽しませてくれる花壇の周りや少し秋の色合いになってきた木立の中を散策したり、一面に広がる青芝の上で立ち止まってお茶を飲んだり、時間の経つのも忘れるほどに心地よい時を過ごすことができました。



◆11・12月の予定

健康課より

11月の予定

藤沢病院 石井Dr.来診	4日(木)
厚誠会歯科検診	2日(火)9日(火) 23日(火)30日(火)
御所見病院 多田隈Dr.来診	10日(水)24日(水)

12月の予定

藤沢病院 石井Dr.来診	2日(木)
厚誠会歯科検診	7日(火)14日(火) 21日(火)28日(火)
御所見病院 多田隈Dr.来診	8日(水)22日(水)



献立委員会



朝晩の空気がひんやりとして、秋の訪れを感じます。秋はなんと言っても実りの秋で、食材の豊富な季節です。希望の郷のメニューも秋です。ほうとう風うどんや栗ご飯にさんまの塩焼きなど、秋を満喫いただけるお食事を沢山ご用意しました。「今年もさんま高いよね。テレビで見たよ。食べられるなんて嬉しいね」なんて声が聞こえて、こちらも季節の味をご堪能いただけて、一緒に嬉しくなりました。

敬老の日には天婦羅御膳、十五夜には月見うどん、秋分の日には助六寿司におはぎとボリューム満点の御膳の日が多々ありましたが、皆さん余すことなく召し上がられて、食欲の秋を実感しています。



編集後記

最近入居者さんと一緒に俳句を詠んだり、作品を見たりすることにはまっています。私は基本的に聞く専門ですが、その人の思いや気持ちの持ち方などが垣間見え、お互いを理解するきっかけになると思います。今回、自分の事で一句作ってみました。(いつもある 十一月の メモリアル) これは私の誕生日に詠んだ句で、メモリアルは記憶や思い出という意味がありますが、そこにはいつも一緒に過ごしてくれる大事な人へ向けて、いつまでも大切にしたいという気持ちを込めました。皆さんも俳句いかがですか。(T・S)